

## 【事例紹介】改修による施設の複合化について

### 1 . 京都府宇治市の紹介

宇治市は、京都盆地の東南部に位置し、京都市の南に隣接している。また、市のほぼ中央には南北に宇治川が流れ、沖積低地と山麓丘陵地に広がる市街地を二分している。

- ・ 世界遺産「平等院」「宇治上神社」  
国指定史跡など多数集積
- ・ 重要文化的景観「宇治の文化的景観」
- ・ 特産品「宇治茶」  
“日本茶800年の歴史散歩”  
が日本遺産に認定
- ・ 源氏物語後段10帖「宇治十帖」の舞台



重層的な歴史と文化を色濃く残すまち

### 2 . 現在の宇治市勢

昭和26年に2町3村が合併し、人口3万8千人で市制施行

昭和30年代後半の高度経済成長期以降、衛星住宅都市として人口が急増

昭和40年代は、人口増に伴う学校建設ラッシュ

平成7年以降人口伸びは鈍化し、近年は、ほぼ横ばい状態

(小学校児童数のピークは昭和57年)

- ・ 人 口 188,459人(平成29年5月1日現在)
- ・ 面 積 67.54km<sup>2</sup>
- ・ 小学校 22校(児童数10,107人)(平成29年5月1日現在)
- (中学校 10校(生徒数 4,889人)(平成29年5月1日現在))

### 3. 小学校施設の状況（市全体）

昭和40年代の急激な児童数増

小学校の新規校の建設や既設校の校舎増築を実施

昭和57年をピークに、以降の児童数は減少

平成4年の児童数はピーク時の70%程度に減少

昭和63年当時、100を超える空き教室が発生

平成2年には行政改革審議会から提言「地域の公共施設に利用できるよう検討する必要がある」

	昭和42年	昭和52年	昭和57年	平成4年	平成29年
児童数	5,871人	15,344人	18,548人	12,973人	10,107人
小学校数	9校	20校	21校	22校	22校

10年で11校建設                      児童数のピーク

当時、庁内で老人福祉計画の策定に向けた検討・調整を行っており、人口推計等を鑑み、在宅介護を要する高齢者のための福祉施設整備が課題とされていた

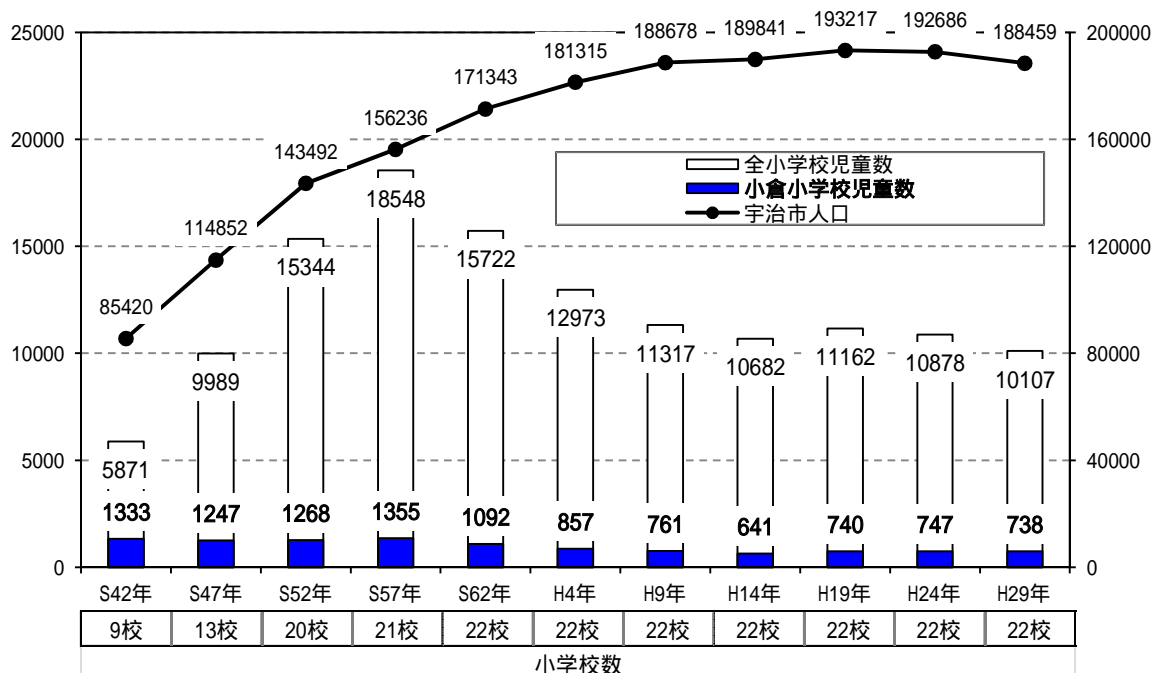
平成4年12月8日に閣議決定された「地方分権特例制度」の適用を申請

（学校施設の目的外利用および転用手続きの簡素化、補助金の返還免除等）

平成5年11月にパイロット自治体の指定を受ける（全国15団体の1団体）

学校教育活動に支障が生じない事など条件

（学校用地取得費補助金の返還免除は認められていない）



## 4. 宇治市立小倉小学校における施設の一部転用（複合化）事例

### （1）学校概況（小倉小学校）

明治6年（1873年）10月15日に、宇治市で4番目の学校として開校。  
現在の校舎については、過去数度の改築等を経て、北校舎は昭和41・43年、南校舎は昭和48年、中校舎は昭和54年の改築等を最後に現在に至る。  
人口増とともに、児童数も増となり、小倉小学校のピーク時は、昭和43年で1,592人（40学級）が在籍。その後、学校新設による校区再編等により児童数は増減するが、昭和55年の1,436人（37学級）以降減少。  
平成6年当時では、788人（24学級）が在籍。  
平成29年5月1日現在は、738人（27学級）が在籍。

### （2）転用内容

平成6年度、小倉小学校北校舎に福祉施設を設置し、あわせて、学校施設の充実に図るための改修工事を施工

#### 福祉施設（1・2階）

- ・ 事業費 1億8千9百万円（備品購入費等を含む）
- ・ 面積 1,017㎡（1階：518㎡、2階：499㎡）
- ・ 整備内容 

1階 空き教室4教室	}	・ デイサービスセンター ・ 在宅介護支援センター ・ デイホーム
2階 空き教室4教室		
- ・ その他 電気・水道・ガス等については、別に引込みし請求を区分

#### 教育部分（3階）

- ・ 事業費 7千8百万円（備品購入費等を含む）
- ・ 面積 484㎡
- ・ 整備内容 

3階 空き教室2教室	}	・ コンピュータ室 ・ 視聴覚室 ・ 多目的室等
図工室・音楽室		
- ・ その他 1・2階と動線を分離するため、3階に渡り廊下を新設

### （3）空き教室の状況

平成 6年5月1日	保有普通教室：37教室（24学級・788人）
平成 7年5月1日	保有普通教室：27教室（24学級・804人）
平成29年5月1日	保有普通教室：27教室（27学級・738人）

## 5. 効果と課題

### (1) 施設間の交流

- ・ 施設の協力を得て、認知症についての学びを道徳の時間に実施（4～6年生）
- ・ 5年生の「総合的な学習」の時間に、歌やリコーダー演奏（各学期2回程度）
- ・ 運動会前には、各学年の演技を披露
- ・ 昼休みに学級の福祉委員が折り紙や風船バレー等で交流（年100日程度）
- ・ 金曜日には、将棋クラブの児童がデイホーム利用者と対局（クラブ活動日）
- ・ 小学校および施設で合同の火災を想定した避難訓練を実施（年1回）
- ・ 同一敷地内にあるため、休み時間等でも児童と利用者間で挨拶や会話が日常的に交わされており、児童の施設内への出入もある。

地域の高齢者と身近にふれあう機会も多く、思いやりの気持ちが醸成される。  
卒業生が当該福祉施設に介護実習等に来ることが多々ある  
福祉施設に対する抵抗感（バリア）が育ちにくい

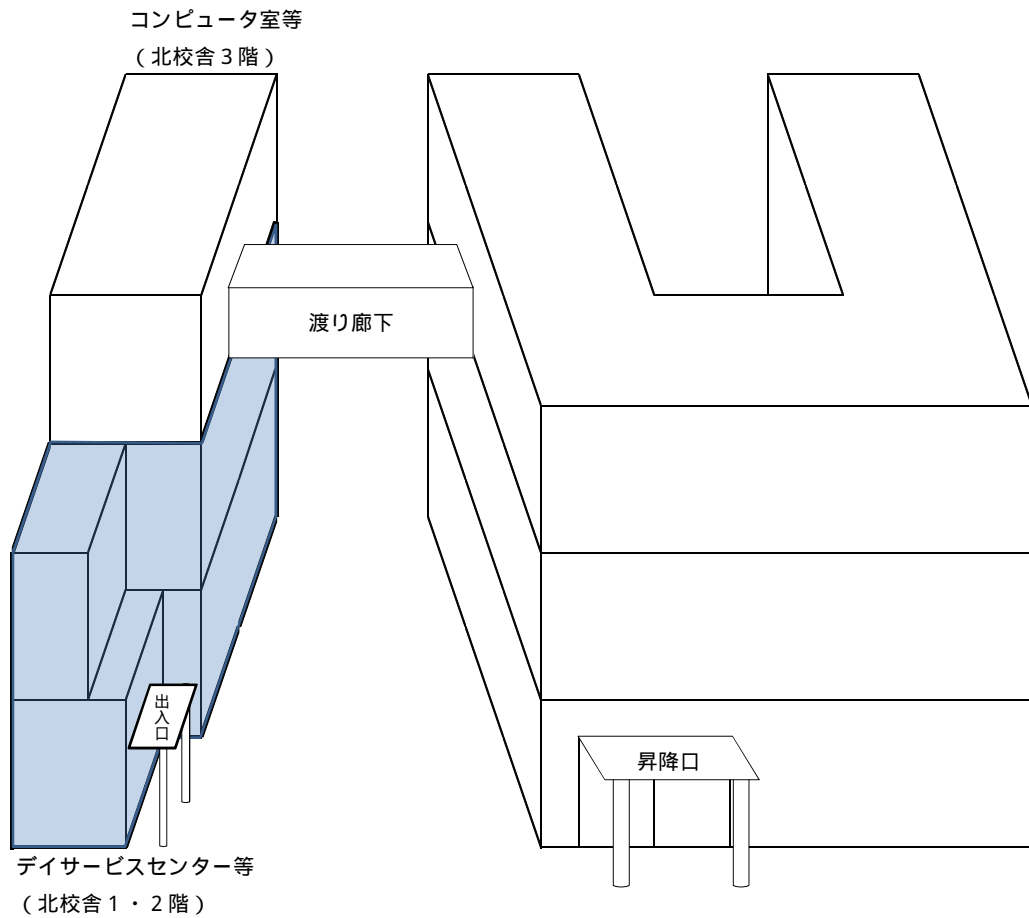
### (2) 施設面での課題

- ・ 児童の登下校のメインとなる動線と、デイ利用者等の車両動線が重なる。  
    デイの職員の通勤時間帯を登校時間とはずらしてもらっている。  
    （9：00から施設の利用時間帯となるが、8：30までは配慮を要請）
- ・ 学校活動時間帯に、施設利用者をはじめとした、車両の出入が頻繁に発生。  
    校門には防犯カメラを設置するとともに、スクールサポーター（有償Vo）  
    を配置（8：00～16：00）。
- ・ 1・2年生の35人学級や少人数授業の導入等、施設転用を検討した当時では  
    想定できなかったため、現在、学校に空き教室がない状況。  
    北校舎3階も含めて活用しているが、適宜、将来推計を精査し対応を検討。

## 6. その他

平成7年度（小倉小学校転用工事の翌年度）には、平盛小学校においても同様に福祉施設へと転用（校舎の1・2階）。

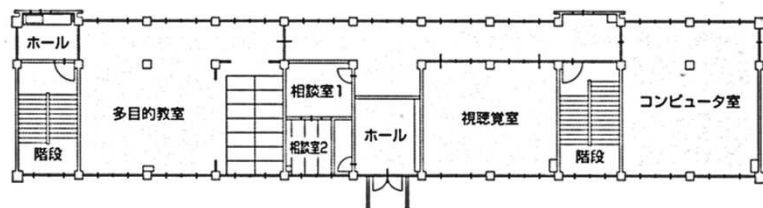
# 宇治市立小倉小学校 校舎配置図



## 北校舎配置図 (12教室を次のとおり改修・整備)

**3階**

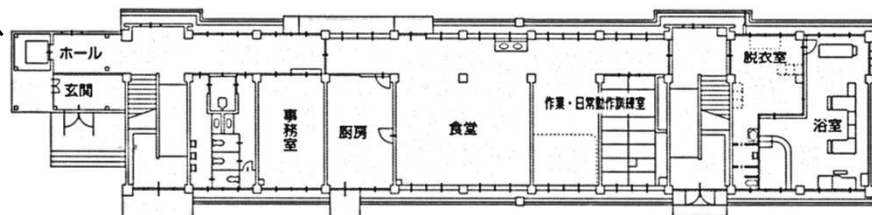
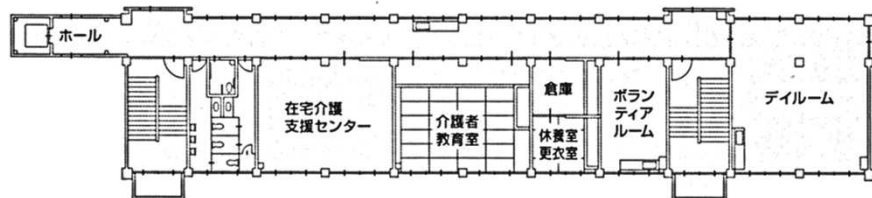
(学校施設)



**2階**

(デイサービスセンター等)

**1階**





# 宇治市立小倉小学校動線図

